

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

| | |
|------------|------------|
| 派遣業務内容 | 製品製造業務 |
| 派遣業務の具体的内容 | 製品製造、製品検査等 |

有限会社ビルド

| | 入職時～1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目以降 |
|---|---|---|--|---|
| (1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件） | 社会人として必要なマナーの習得および、製造及び品質業務関連した基礎知識を習得し、指示に基づき正確に業務を行う | 製品改善に関する知識を身につけて行動することができ、円滑にコミュニケーションをとることができる人材 | 品質管理に関する知識を身につけ、仲間にも伝えることができるコミュニケーション力の獲得 | 品質管理に関する知識を深め周りに働きかける力に着け、自らも主体的に働くことができる人材 |
| (2)(1)に必要なスキル、資質等 | ビジネスマナー 製品製造基礎 | 製品改善知識 | 品質管理基礎 | リーダーマネジメントスキル QC検定3級 |
| (3)教育訓練内容 （上段：様式3号-2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間） | ① ビジネスマナー研修 挨拶、言葉遣い、身だしなみ、礼儀、礼節等一般社会人常識、業務で使用する専門用語とその内容 2時間 | ② コミュニケーション研修 効果的なコミュニケーション 2時間 | ② コミュニケーション研修 上司・同僚・部下との連携による効率的なコミュニケーション 2時間 | ② コミュニケーション研修 部下のメンタルに配慮したコミュニケーション 2時間 |
| | ② コミュニケーション研修 ビジネスシーンに必要なコミュニケーションスキル 2時間 | ③ 製品製造業務訓練Ⅱ 工場における具体的なカイゼン方法の習得 6時間 | ③ 製品製造業務訓練Ⅲ QC検定4級程度知識の習得 6時間 | ③ 製品製造業務訓練Ⅳ QC検定3級取得支援 4時間 |
| | ③ 製品製造業務訓練Ⅰ 製造業務従事のための製造工程、製造現場のしくみの理解 4時間 | | | ⑤ リーダーシップ理論 ・リーダーシップ ・マネージャーの役割と仕事 2時間 |
| | | | | |
| | | | | |
| (4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技量レベル／キャリアアップにつながる理由 | <ul style="list-style-type: none"> ●ビジネスマナー研修 <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 仕事に役立つ論理力・表現力からビジネススキル・ビジネスマナー等総合的な能力を身につける。 ・到達すべき知識・技量レベル ビジネススキル・マナー習得。業務に係る製造関連用語を理解できる。 ・キャリアアップにつながる理由 当社では就労経験のない派遣労働者の雇用を想定しており、まずは就労に必要な社会人としての基本的なスキルを身につけることで円滑な派遣就業を目指す。 ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 円滑な職場のコミュニケーション（他者理解のための「傾聴力」や、相手の心情・要望を引き出すための「質問力」の習得） ・到達すべき知識・技量レベル 相手が伝えたいことを引き出すことができる。ポイントを押さえて話すことができる。 ・キャリアアップにつながる理由 スムーズな情報の発信・受信が可能。 ●製品製造業務訓練Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 製造工場の全体を理解する。自身の携わる業務やその他の業務の関連を学ぶ。 ・到達すべき知識・技量レベル 一連の製品完成工程を理解する。他部門との関わりが分かる。 ・キャリアアップにつながる理由 全体像を把握し一連の業務の関連性を学ぶことは、自分の携わる業務の重要性が認識できモチベーションアップにつながると考える。また、他部門の業務を知ることによって製品への一層の理解が深まる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 顧客との関係や上司・部下間の関係を、より良くすることができる。 ・到達すべき知識・技量レベル 相手が伝えたいことを引き出す。疑問や反論を想定した説明ができる。 ・キャリアアップにつながる理由 コミュニケーション能力を評価する企業は増加しており、ビジネスにおいては最も必要とされる能力である。効果的なコミュニケーション能力を身につけることは、あらゆる場面でPRポイントとなると考える。 ●製品製造業務訓練Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 製造工程を見える化することでどんなことが見えてくるかを理解する。製造現場で実践できる具体的な改善例を学ぶ。 ・到達すべき知識・技量レベル 工場内でのような点に着目すれば、改善ができるかがわかる。問題意識をもって業務に取り組みることができる。 ・キャリアアップにつながる理由 製造現場での改善事例を学ぶことで、自身の現場での実践を考えるきっかけとなる。単に日々の作業をこなすだけでなく、問題意識を持って業務に取り組み姿勢は、個人と職場全体に良い影響を与える重要なスキルともいえる。また、そのスキルはあらゆる業務において活かすことができ、キャリアアップにつながる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 スピーチやプレゼンテーションに必要なスキルを身につける。 ・到達すべき知識・技量レベル 論点が本質からずれた場合の軌道修正ができる。相手の表情や態度、ニュアンスのちがいに気を配りながら意思疎通できる。部下や後輩が意見を相談しやすい雰囲気、体制作りをすることができる。相手の「論理レベル」に合わせた話し方ができる。数字や図を用いて説明することができる。 ・キャリアアップにつながる理由 リーダー向けに必要なコミュニケーションスキルを習得することにより、管理職としての雇用機会が拡大する。結果としてキャリアアップに繋がる。 ●製品製造業務訓練Ⅲ <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 品質管理の考え方、実施法、手法に関する知識の習得 ・到達すべき知識・技量レベル 品質管理に関する基礎知識を習得する。QC7つ道具などの手法や品質管理全般について、おおよその理解ができる。 ・キャリアアップにつながる理由 自工程だけでなく、品質管理について全般を理解し、日常の業務に活かし、職場を対象にした改善に役立てながら業務を推進する能力を身につけることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 リーダーとして、部下と適切にコミュニケーションをとることができる。 ・到達すべき知識・技量レベル 部下の健康状態やコンディション等の状況を確認することができる。 ・キャリアアップにつながる理由 グループワークを通じて、他者の意見を尊重しつつ、自らの行動を振り返ることで、今後の働き方の指標になる。 ●製品製造業務訓練Ⅳ <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 全社的な品質管理の推進、向上活動を推進・実践するための具体的な方策を立案実施する能力を身につける ・到達すべき知識・技量レベル QC検定3級の知識 ・キャリアアップにつながる理由 QC検定は品質管理に関する社外検定であり、客観的にレベルの把握ができ、雇用機会の増大、処遇アップにつながると考える。この資格の勉強を通じて得た知識はあらゆる職種で活かすことができ、キャリアアップにつながる。 ●リーダー研修 <ul style="list-style-type: none"> ・期待される教育訓練の効果 現場リーダーとして、リーダーシップを発揮し、組織をまとめ、目標を達成することができる。 ・到達すべき知識・技量レベル リーダーシップに必要な「4つの能力（①適応力と強靱な精神、②意味の共有化と他者の巻き込み、③意見と表現、④高潔さ）」の大切さを理解できる。 ・キャリアアップにつながる理由 リーダーに必要な能力を理解し、身につけることにより、現場において更なるリーダーシップを発揮することができる。 |

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

| | |
|------------|----------------------------|
| 派遣業務内容 | 貨物自動車運転業務 |
| 派遣業務の具体的内容 | 貨物自動車運転による配送（主に自動車部品）、荷降ろし |

有限会社ビルド

| | 入職時～1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目以降 |
|---|--|--|--|---|
| (1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件） | 社会人として必要なマナーの習得および、配送業務関連した基礎知識を習得し、指示に基づき正確に業務を行う | 運転業務に関する幅広い対応力を身につけて行動することができ、円滑にコミュニケーションをとることができる人材 | 運転業務に関する知識を深め、仲間にも伝えることができるコミュニケーション力の獲得 | リーダーとして周りに働きかける力を身に付け、自らも主体的に働くことができる人材 |
| (2)(1)に必要なスキル、資質等 | ビジネスマナー 運転業務従事基礎 | 運転業務従事発展 営業力、トラブル対応力 | 運行管理者試験基礎（法規） | 運行管理者試験合格 |
| (3)教育訓練内容（上段：様式3号ー2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間） | ① ビジネスマナー研修 挨拶、言葉遣い、身だしなみ、礼儀、礼節等一般社会人常識、業務で使用する専門用語とその内容 2時間 | ② コミュニケーション研修 効果的なコミュニケーション 2時間 | ② コミュニケーション研修 上司・同僚・部下との連携による効率的なコミュニケーション 2時間 | ② コミュニケーション研修 部下のメンタルに配慮したコミュニケーション 2時間 |
| | ② コミュニケーション研修 ビジネスシーンに必要なコミュニケーションスキル 2時間 | ④ 運転業務従事者研修Ⅱ ドライバーとしての営業力、トラブル対策 6時間 | ④ 運転業務従事者研修Ⅲ 運行管理者資格支援Ⅰ（貨物自動車運送法、道路運送車両法、道路交通法） 6時間 | ④ 運転業務従事者研修Ⅳ 運行管理者資格支援Ⅱ（労働基準監督署法、運行管理者業務の実務上の知識及び能力） 4時間 |
| | ④ 運転業務従事者研修Ⅰ 運転業務従事のための作業内容の理解、プロドライバーとしての条件、スキル 2時間 | | | ⑤ リーダーシップ理論 ・リーダーシップ ・マネージャーの役割と仕事 2時間 |
| | | | | |
| | | | | |
| (4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／到達すべき知識／到達すべき知識／到達すべき知識／到達すべき知識 | <ul style="list-style-type: none"> ●ビジネスマナー研修 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 仕事に役立つ論理力・表現力からビジネススキル・ビジネスマナー等総合的な能力を身につける。 到達すべき知識・技量レベル ビジネススキル・マナー習得。業務に係る専門関連用語を理解できる。 キャリアアップにつながる理由 就労に必要な社会人としての基本的なスキルを身につけることで円滑な派遣就業を目指す。 ●運転業務従事訓練 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 指揮命令下の元、指示された業務を一任できる。プロドライバーとしての顧客対応や車両の知識を習得する。 到達すべき知識・技量レベル 作業を滞りなく遂行することができる。プロとしてあるべき姿を身につける。 キャリアアップにつながる理由 運転技術以外のプロドライバーに必要なスキル、マインド、マナー、モラルを総合的に学ぶことでプロドライバーとしての能力・自覚が高まり、長期就労に結びつくと考えられる。 ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 円滑な職場のコミュニケーション（他者理解のための「傾聴力」や、相手の心情・要望を引き出すための「質問力」の習得） 到達すべき知識・技量レベル 相手が伝えたいことを引き出すことができる。ポイントを押さえて話すことができる。 キャリアアップにつながる理由 スムーズな情報の発信・受信が可能。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 顧客との関係や上司・部下間関係を、より良くすることができる。 到達すべき知識・技量レベル 相手が伝えたいことを引き出す。疑問や反論を想定した説明ができる。 キャリアアップにつながる理由 コミュニケーション能力に評価する企業は増加しており、ビジネスにおいては最も必要とされる能力である。効果的なコミュニケーション能力を身に付けることは、あらゆる場でPRポイントとなると考える。 ●運転業務従事訓練 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 セールスドライバーとしての営業力を身につける。様々なトラブルへの対応力を身につける。 到達すべき知識・技量レベル セールスドライバーの役割を理解する。好感度・好印象を与える方法、気配りすべき箇所がわかる。 キャリアアップにつながる理由 単に運転をして荷物を運ぶ作業だけでなく、セールスドライバーとして派遣されるよう営業力を身につける。業務で想定される各種トラブルへの対応力を習得し、自立したドライバーを目指す。結果、業務の拡大、ヒューマンサービスの向上につながることを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 スピーチやプレゼンテーションに必要なスキルを身につける。 到達すべき知識・技量レベル 論点が本質からずれた場合の軌道修正ができる。相手の表情や態度、ニュアンスのちがいに気を配りながら意思疎通できる。 部下や後輩が意見を相談しやすい雰囲気、体制作りをすることができる。相手の「論理レベル」に合わせた話し方ができる。数字や図を用いて説明することができる。 キャリアアップにつながる理由 スピーチやプレゼンスキンは顧客対応時にも応用できる。リーダー向けに必要な様々なコミュニケーションスキルを習得することにより、管理職としての雇用機会も拡大しキャリアアップに繋がる。 ●運転業務従事訓練 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 運行管理者試験に出題される、貨物自動車に関する法規を学び、運行管理者資格取得に向けての基礎を学ぶ。 到達すべき知識・技量レベル 業務に関連した各法規の内容が理解できる。 キャリアアップにつながる理由 日頃耳にしている業務に関する単語や行為が法律の中でどのように位置づけられ、ルールができてきているのかを学ぶ。より専門的な知識の習得はプロドライバーとしての運転の質の向上につながることは元より、将来的に運行管理者へ向けての基礎となる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション研修 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 リーダーとして、部下と適切にコミュニケーションをとることができる。 到達すべき知識・技量レベル 部下の健康状態やコンディション等の状況を確認することができる。 キャリアアップにつながる理由 グループワークを通じて、他者の意見を尊重しつつ、自らの行動を振り返ること、今後の働き方の指標になる。 ●運転業務従事訓練 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 運行管理者は事業用自動車の安全運行を管理するスペシャリストの国家資格である。事業所ごとに、一定の人数の運行管理者を選任することにより、資格取得により就労の場の拡大が期待できる。 到達すべき知識・技量レベル 運行管理者合格レベル キャリアアップにつながる理由 運行管理者は社内にて運転者を管理する役割なので、50代60代になっても働かやすい業務といえる。長期的な雇用に向けて取得したい資格である。 ●リーダー研修 <ul style="list-style-type: none"> 期待される教育訓練の効果 現場リーダーとして、リーダーシップを発揮し、組織をまとめ、目標を達成することができる。 到達すべき知識・技量レベル リーダーシップに必要な「4つの能力（①適応力と強靱な精神、②意味の共有化と他者の巻き込み、③意見と表現、④高潔さ）」の大切さを理解できる。 キャリアアップにつながる理由 リーダーに必要な能力を理解し、身につけることにより、現場において更なるリーダーシップを発揮することができる。 |